

# 2024年3月期第2四半期 決算補足資料

2023年11月10日



(東証スタンダード市場 9857)

2024年3月期 第2四半期 連結決算概要	・・・ P.3
2024年3月期 連結業績見通し	・・・ P.15

# 2024年3月期第2四半期 連結決算概要

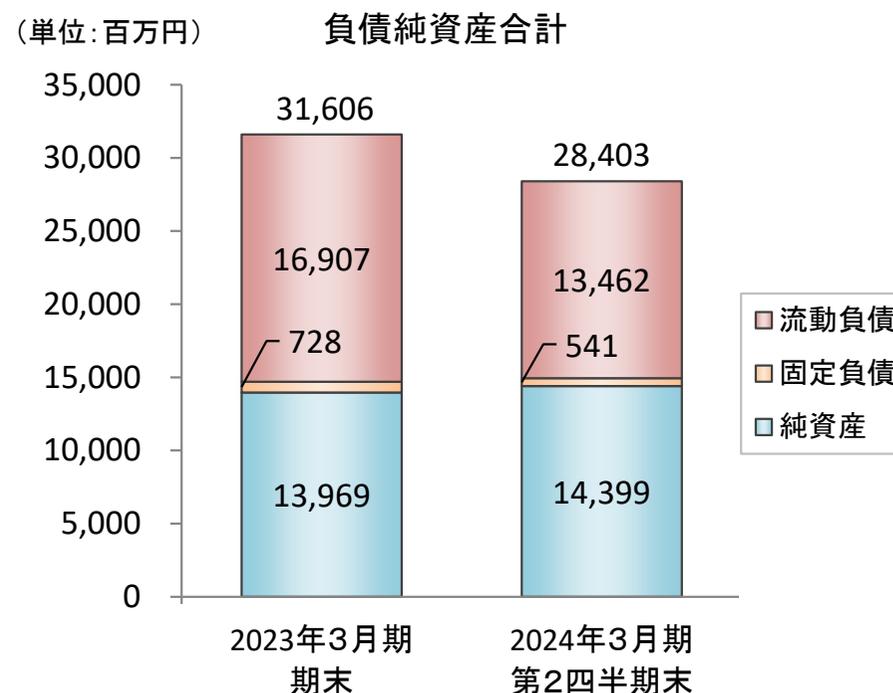
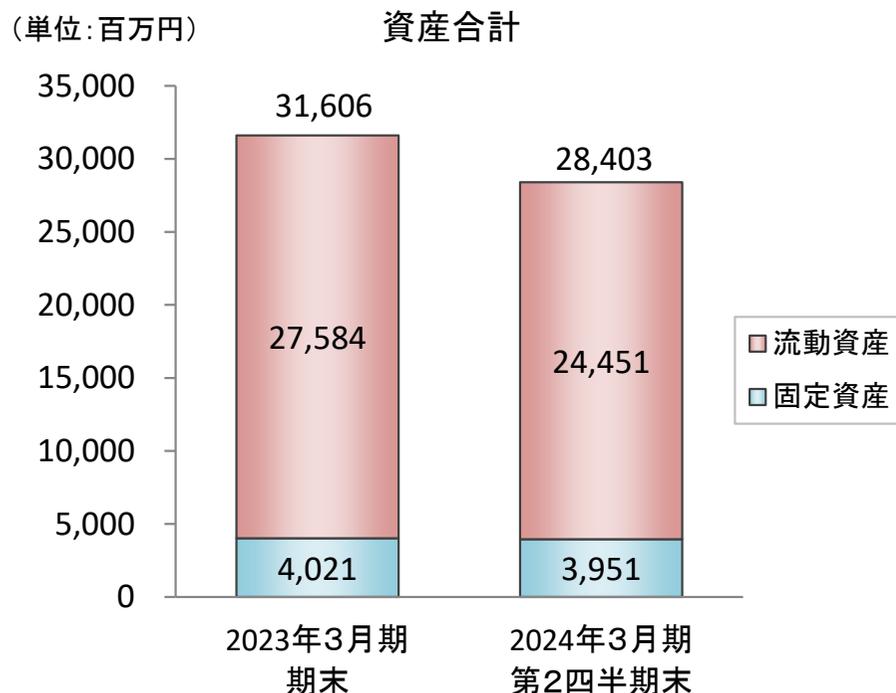
(単位:百万円)	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減額	前年 同四半期比	2024年3月期 業績見通し
売上高	17,399	19,190	+ 1,790	+ 10.3%	42,000
営業利益	450	893	+ 442	+ 98.2%	2,250
経常利益	485	945	+ 459	+ 94.8%	2,320
親会社株主に帰属する 四半期純利益	297	626	+ 328	+ 110.5%	1,530

## 決算の概況

- 商品長納期化を見越した顧客の先行発注姿勢に落ち着きが見られた他、社会インフラ市場向け特殊車両についてはベース車両の長納期化の影響が出るなどして受注に減速感が見られるものの、販売については、商品の長納期化が改善傾向にあり、積み上がった受注残を着実に売上へ転化したことに加え、生産性向上を目的にデジタル技術を活用した生産設備の自動化や高度化につながる投資があった他、老朽化した設備の更新需要が堅調に推移したことにより、産業用装置・重電設備業界、製造用機械・電気機器業界、造船業界、鉄鋼業界向けが増加しました。
- 顧客の課題を解決するコト売りをはじめとする高付加価値営業の強化に取り組んだことや、販売費及び一般管理費の費消が想定より低めに推移したことにより、収益性が向上しました。

(注) 1. 2024年3月期の業績見通しにつきましては、2023年5月12日公表の業績予想から修正しております。詳細につきましては、2023年9月21日に発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 本資料中の金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。



2024年3月期第2四半期 ハイライト(カッコ内は前期比)

自己資本比率 : 50.7% (2023/03時点 44.2%)

## 資産

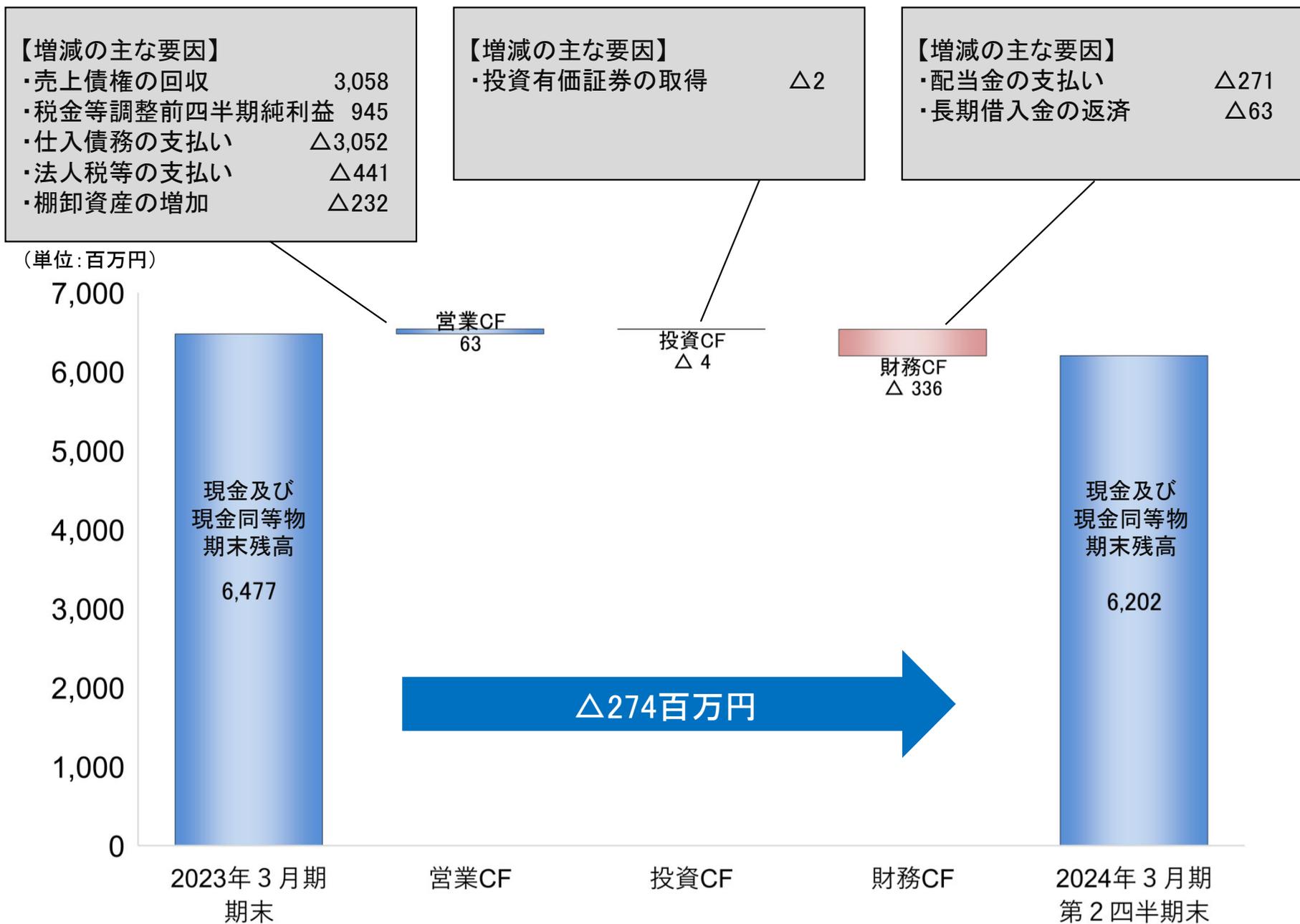
【増減の主な要因】 (単位:百万円)

◆受取手形、売掛金及び契約資産: 12,908(△3,341) 売上債権の回収が進んだことにより減少しました。

## 負債・純資産

【増減の主な要因】 (単位:百万円)

◆支払手形及び買掛金: 5,615(△2,189)  
 ◆電子記録債務: 5,497(△860) } 仕入債務の支払いが進んだことにより、減少しました。  
 ◆純資産: 14,399(+429) 配当の支払い272百万円等により減少し、四半期純利益626百万円により増加しました。

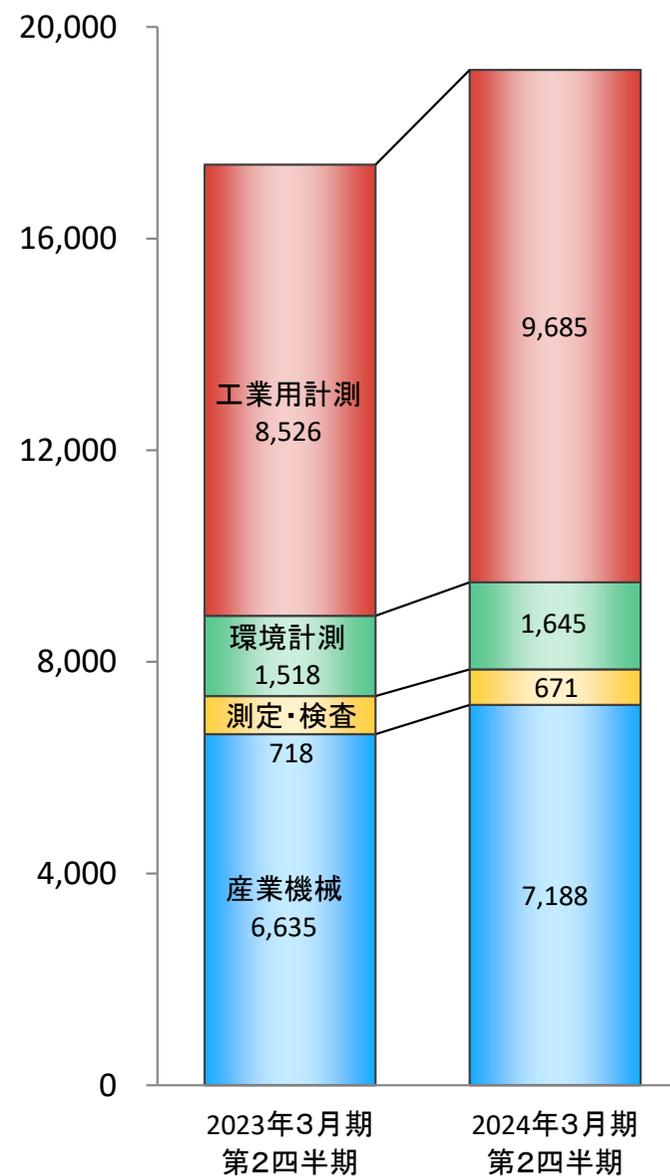


# 品目別売上高推移



(単位:百万円)	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	前年 同四半期比	構成比
工業用計測 制御機器	8,526	9,685	+ 13.6%	50.5%
環境計測・ 分析機器	1,518	1,645	+ 8.4%	8.6%
測定・ 検査機器	718	671	△ 6.7%	3.5%
産業機械	6,635	7,188	+ 8.3%	37.4%
合計	17,399	19,190	+ 10.3%	100.0%

(単位:百万円)



## 工業用計測制御機器

産業技術の基本となる計測制御技術を  
安全性・信頼性で支える。

- ◆工業用センサー ◆制御機器
- ◆受信機器 ◆情報通信・変換機器

### 取扱い商品一例



IoT予兆保全システム

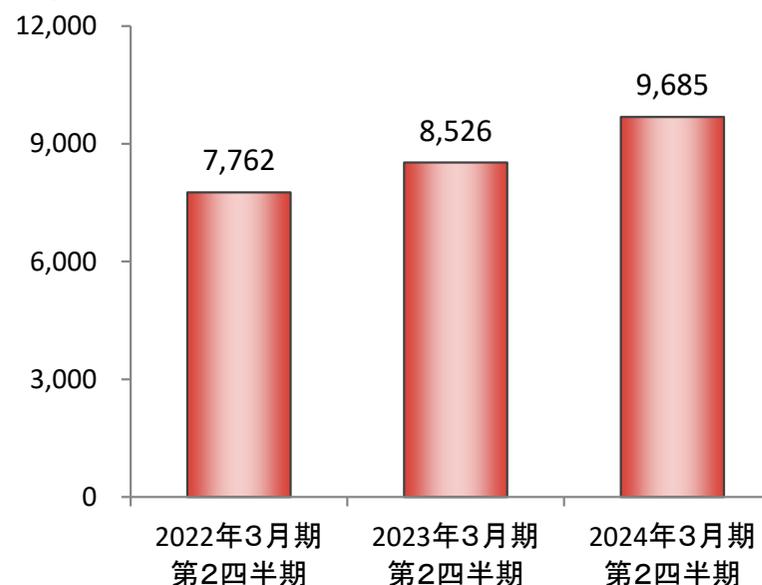


電波レベル計



グラフィックレコーダー

(単位:百万円)



### <当第2四半期売上高>

96億85百万円(前年同四半期比13.6%増)

働き方改革や生産性向上を目的に、生産設備の自動化や操業状況のデータ収集を可能とする各種ソリューションの提案、安全対策や予知保全に関連する各種センサーの提案、老朽化した設備に付帯する機器の更新提案、増加する自然災害への対策機器の提案等に取り組みました。その結果、お客様の課題解決につながる各種ソリューションの販売があった他、鉄鋼、建設・プラント業界向けに情報通信機器の販売が増加しました。また、産業用装置・重電設備、製造用機械・電気機器、造船業界向けに各種センサーの販売が堅調に推移したことにより、販売が増加しました。

## 環境計測・分析機器

『事業活動を通じ地球環境保全に貢献し社会的責任を果たす』を重点テーマに、ユーザーの環境改善対策に貢献。

- ◆ 水質・ガス・大気分析機器
- ◆ 気象観測機器
- ◆ 振動・騒音・臭気測定機器

### 取扱い商品一例



全室素・全りん測定装置

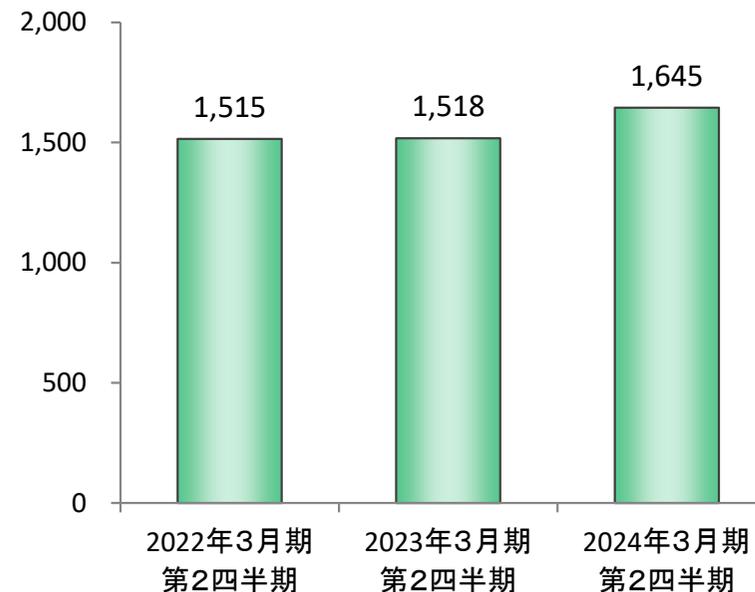


地震計



複合ガス検知器

(単位:百万円)



### <当第2四半期売上高>

16億45百万円(前年同四半期比8.4%増)

引続き、世界的な環境ニーズの高まりや労働環境の改善につながる環境計測機器の提案、環境関連の法規制を背景に、水質、大気、振動等の分析機器の販売に取り組みました。その結果、コンビナート市場向けに老朽化した設備に付帯する機器の更新需要を取込んだ他、産業用装置・重電設備、建設・プラント、造船業界向けに水質・大気分析計の販売が堅調に推移したことにより、販売が増加しました。

## 測定・検査機器

研究開発や製品の検査を確かな品質でサポート。

- ◆形状検査・試験機器 ◆非破壊検査・試験機器
- ◆材料検査・試験機器 ◆電力監視機器・システム

### 取扱い商品一例



三次元測定器

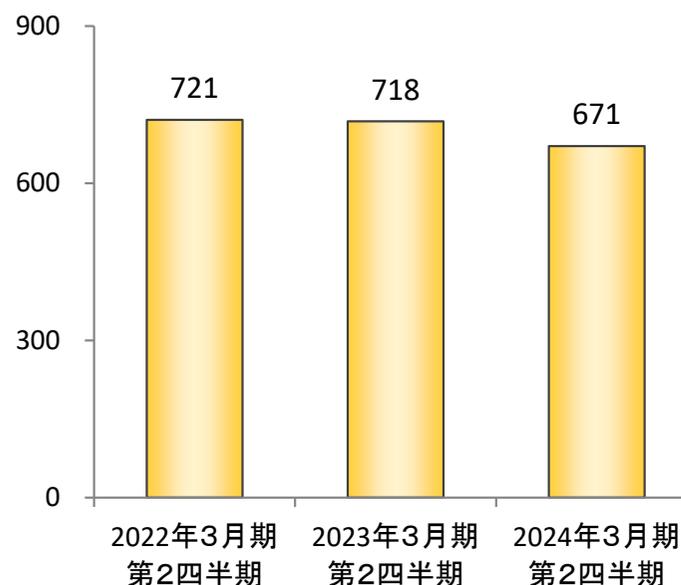


顕微鏡



引張圧縮試験機

(単位:百万円)



### <当第2四半期売上高>

6億71百万円(前年同四半期比6.7%減)

脱炭素化社会実現に向けグリーンイノベーション(GI)基金事業を活用した研究開発、製品の品質や精度の向上を目的とした各種測定検査機器の提案、製造現場の作業効率向上や技能継承を推進するタブレット端末を使用したソリューション提案に取り組みました。その結果、製造用機械・電気機器、自動車関連業界向けの販売は増加したものの、化学、鉄鋼業界向けの販売は減少し、全体でも減少しました。

## 産業機械

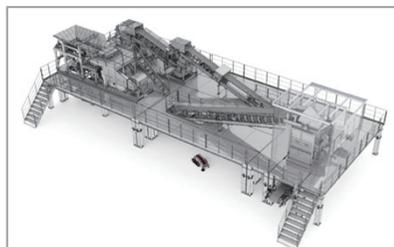
あらゆる生産設備・社会資本設備で活用される産業機械のソリューションを提供。

- ◆油・空圧機器 ◆ポンプ・バルブ機器
- ◆道路維持機械 ◆エネルギー関連設備
- ◆各種装置

### 取扱い商品一例



バイオマスリサイクル



リサイクルプラント

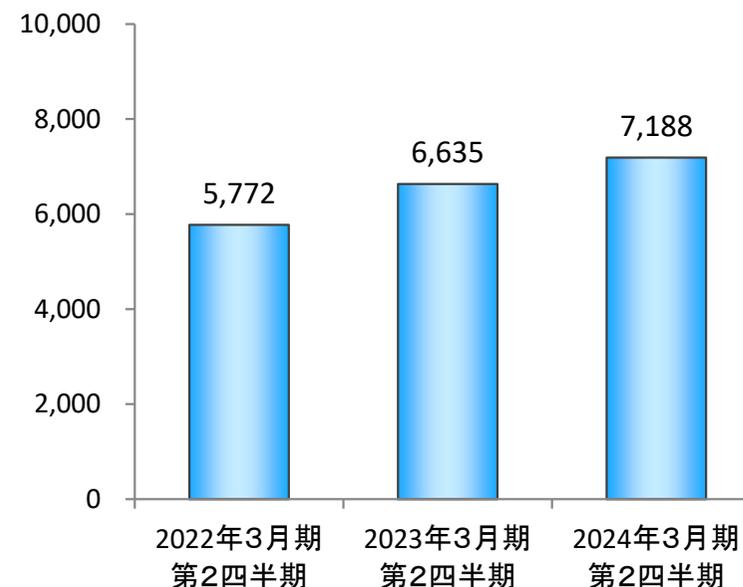


ポンプ



路面清掃車

(単位:百万円)



### <当第2四半期売上高>

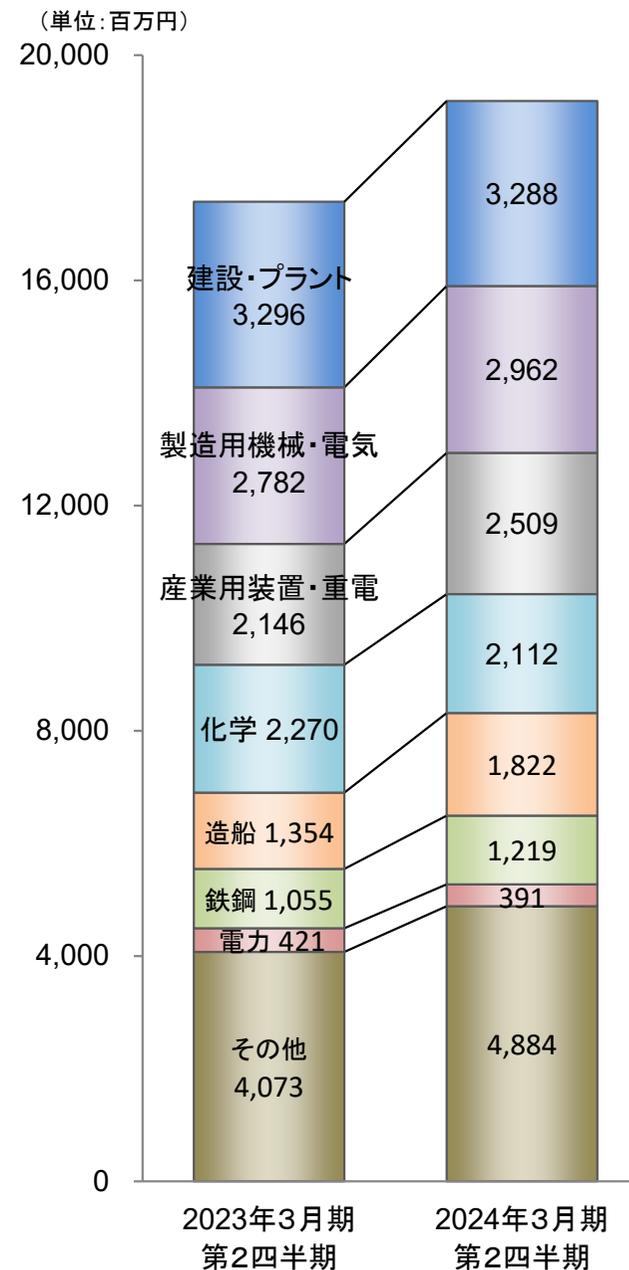
71億88百万円(前年同四半期比8.3%増)

社会インフラ市場や民間企業における老朽化した設備に付帯する機器の提案、気候変動問題への解決策として注目されているサーキュラーエコノミーに関連するソリューションの提案、省エネルギーや高効率につながる各種機器の導入提案に取り組みました。その結果、製造用機械・電気機器、自動車関連業界向けに大口の産業機械の販売があり増加した他、造船業界向けに排ガス規制に伴うバルブの販売が堅調に推移したことにより、販売が増加しました。

(単位:百万円)	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	前年 同四半期比	構成比
建設・プラント	3,296	3,288	△ 0.2%	17.1%
製造用機械・ 電気機器	2,782	2,962	+ 6.5%	15.4%
産業用装置・ 重電設備	2,146	2,509	+ 16.9%	13.1%
化学	2,270	2,112	△ 7.0%	11.0%
造船	1,354	1,822	+ 34.6%	9.5%
鉄鋼・ 金属製品	1,055	1,219	+ 15.5%	6.4%
電力・ガス	421	391	△ 7.1%	2.0%
その他	4,073	4,884	+ 19.9%	25.5%
合計	17,399	19,190	+ 10.3%	100.0%

## 増減要因

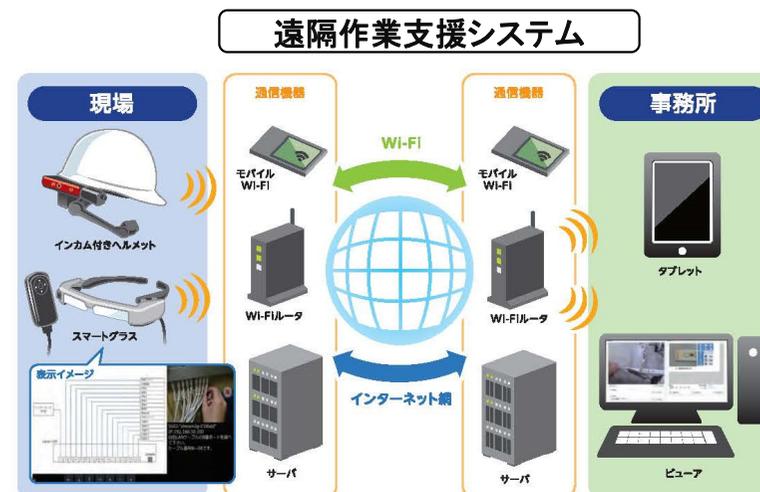
- 生産設備の自動化や高度化につながる投資や、老朽化した設備の更新需要が堅調に推移したことにより、産業用装置・重電設備、製造用機械・電気機器、鉄鋼業界向けの販売が増加しました。
- 設備稼働率の上昇に伴い、造船業界向けの販売が増加しました。



## デジタルトランスフォーメーション(DX)

デジタル技術を活用した生産設備の自動化、保全業務の効率化、技能継承への対応に貢献

- ・ お客様ニーズに応じた最適なソリューションを提案
- ・ センサーによる予兆保全
- ・ 遠隔作業支援システム
- ・ 現場帳票のスマート化
- ・ タブレット端末を活用した保全業務
- ・ 老朽化した生産設備の更新を提案



## グリーントランスフォーメーション(GX)

気候変動対策として、カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミーへの対応に貢献

- ・ 環境負荷低減に資する商品、水素・アンモニアを利活用する先端技術開発分野への各種ソリューションの提案

(カーボンニュートラル)

- ・ 水素、脱炭素に関する研究開発に必要な各種試験用セル、スタック、MEA、各種試験評価装置を提案

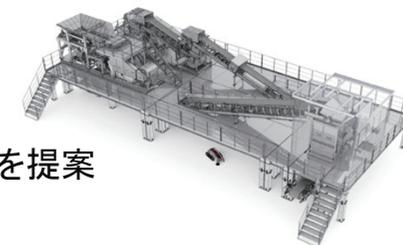


電解単セル・スタック

## 社会資本整備

社会資本ストックの整備・高度化と、安全安心につながる生活インフラの維持に貢献

- ・ 道路の維持補修機械の提案
- ・ 二次災害のリスク低減、防災・災害対策の提案
- ・ 老朽化したインフラ設備の更新を提案



(サーキュラーエコノミー)

- ・ リニアから循環経済へ原材料転換及び資源リサイクルシステムの構築を提案

リサイクルプラント

フランス・ノルマンディーに本社を構え、世界に先駆けオーダーメイド聴覚保護具を開発・製造する Cotral.Lab(コトラル ラボ)と国内総代理店契約を締結し、本年5月より国内市場での販売を開始しました。

## 【特徴】

- 30年以上の経験、世界で約3万1000社、約200万人の作業者が使用
- 最適な保護性能を得るため、個人毎に両耳の型を採取し保護具を作成(オーダーメイドタイプ)
- 保護具の素材は、副作用を起こしにくい低刺激性素材(アクリル樹脂)を採用
- 保護具の内部は、騒音を遮音しながら会話が可能なフィルターを装着
- JIS規格(日本産業規格)を始めとする各国の認証に適合

## 【背景】

- サステナビリティへの取組みの一環として、安全で安心して働ける職場環境の構築、改善に積極的に取り組む企業が増加
- 一般的に大きな音(日本:85dB、海外:80dBを超える音)にさらされ続けると、耳の機能が損なわれ難聴になる恐れ
- 本年4月に厚生労働省は『聴覚障害防止に関するガイドライン』を改訂、聴覚障害の予防対策の強化に乗り出した



生産現場に限らず、世の中の騒音環境下で働くすべての作業者の健康と労働環境を確実に守るツールとして期待

※Cotral.Lab カタログより抜粋

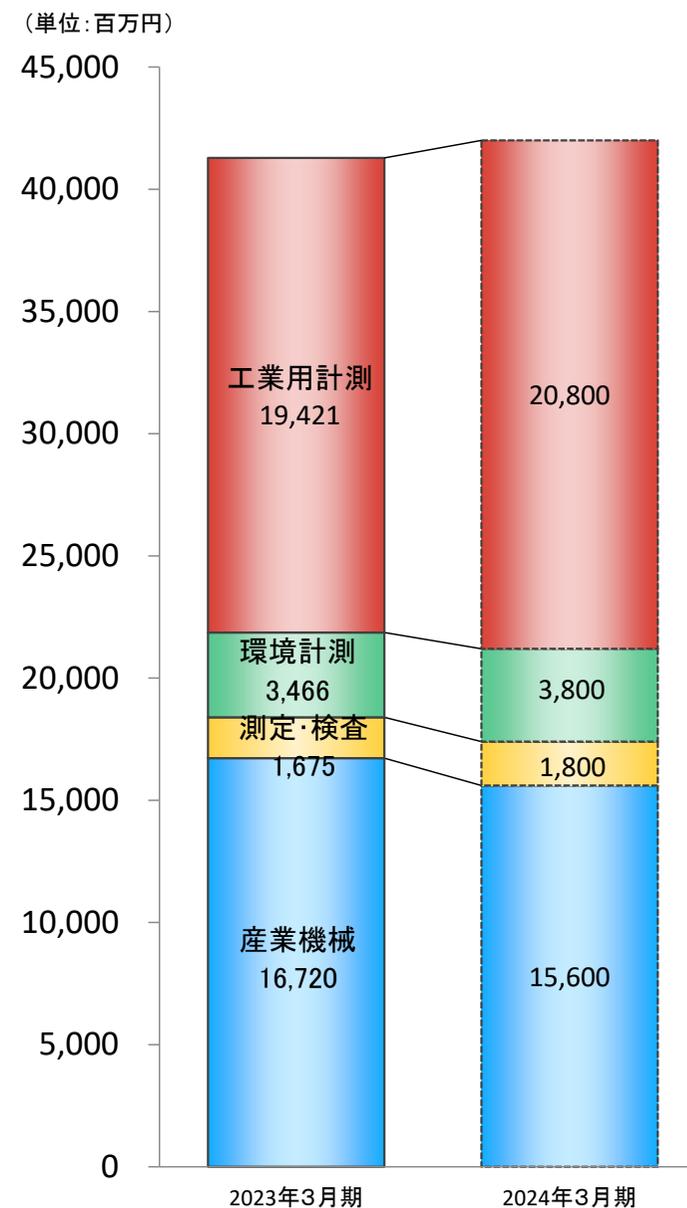


# 2024年3月期 連結業績見通し

(単位:百万円)	2023年3月期	2024年3月期	増減額		前年同期比	
売上高	41,284	42,000	+	715	+	1.7%
営業利益	1,894	2,250	+	355	+	18.8%
経常利益	1,979	2,320	+	340	+	17.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,320	1,530	+	209	+	15.8%
1株当たり当期純利益	208.71 円 銭	241.75 円 銭	+	33.04 円 銭	+	15.8%
見通し						

- 当連結会計年度の連結業績予想につきましては、2023年5月12日公表の業績予想から修正しております。詳細につきましては、2023年9月21日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

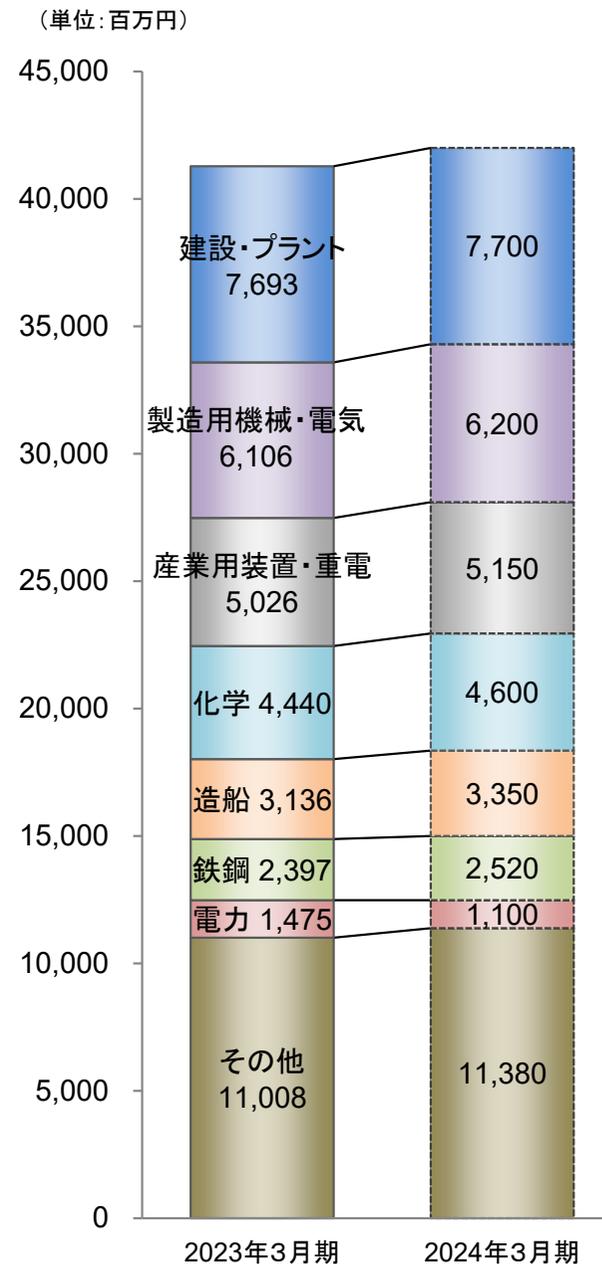
(単位:百万円)	2023年 3月期	2024年 3月期	前年同期比	構成比
工業用計測 制御機器	19,421	20,800	+ 7.1%	49.5%
環境計測・ 分析機器	3,466	3,800	+ 9.6%	9.1%
測定・ 検査機器	1,675	1,800	+ 7.4%	4.3%
産業機械	16,720	15,600	△ 6.7%	37.1%
合計	41,284	42,000	+ 1.7%	100.0%



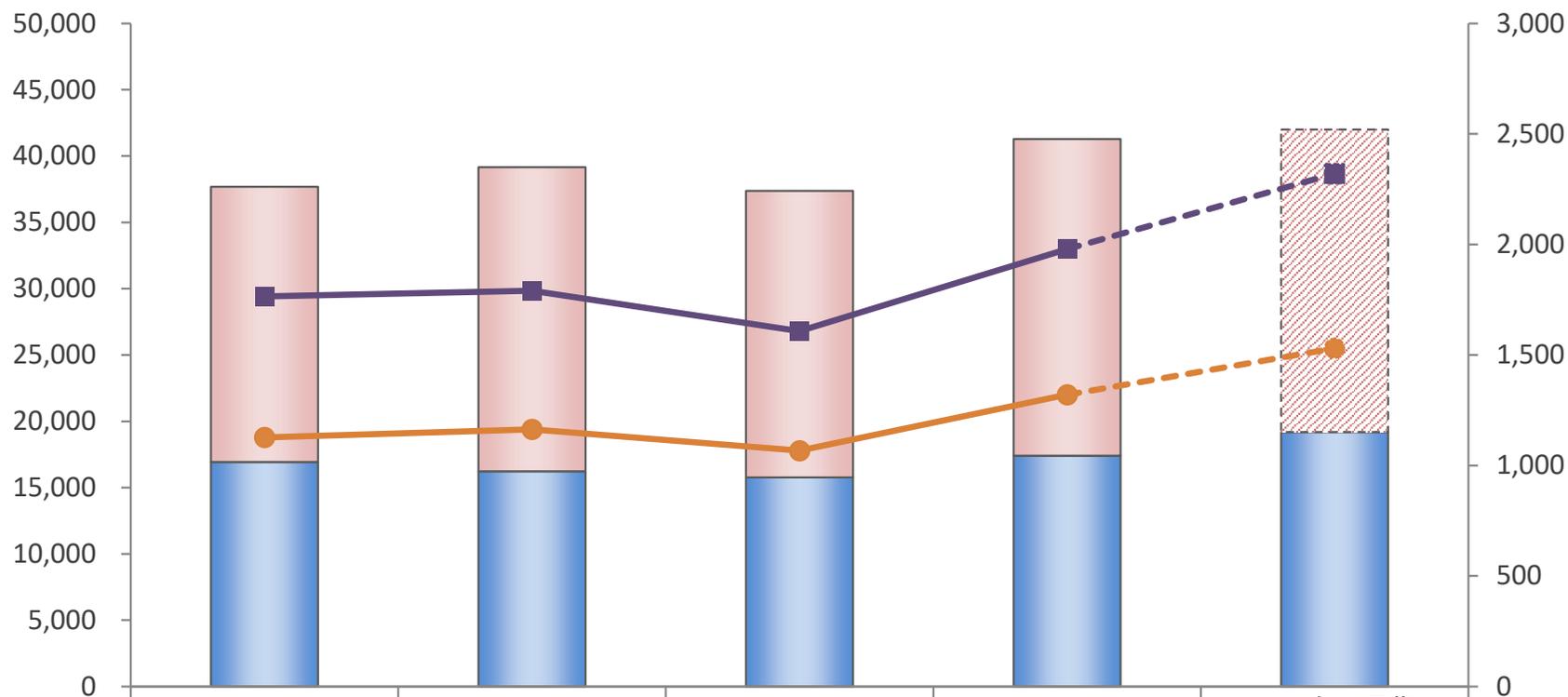
# 業界別売上高見通し



(単位:百万円)	2023年3月期	2024年3月期	前年同期比	構成比
建設・プラント	7,693	7,700	+ 0.1%	18.3%
製造用機械・電気機器	6,106	6,200	+ 1.5%	14.8%
産業用装置・重電設備	5,026	5,150	+ 2.5%	12.3%
化学	4,440	4,600	+ 3.6%	10.9%
造船	3,136	3,350	+ 6.8%	8.0%
鉄鋼・金属製品	2,397	2,520	+ 5.1%	6.0%
電力・ガス	1,475	1,100	△ 25.4%	2.6%
その他	11,008	11,380	+ 3.4%	27.1%
合計	41,284	42,000	+ 1.7%	100.0%



(単位:百万円)

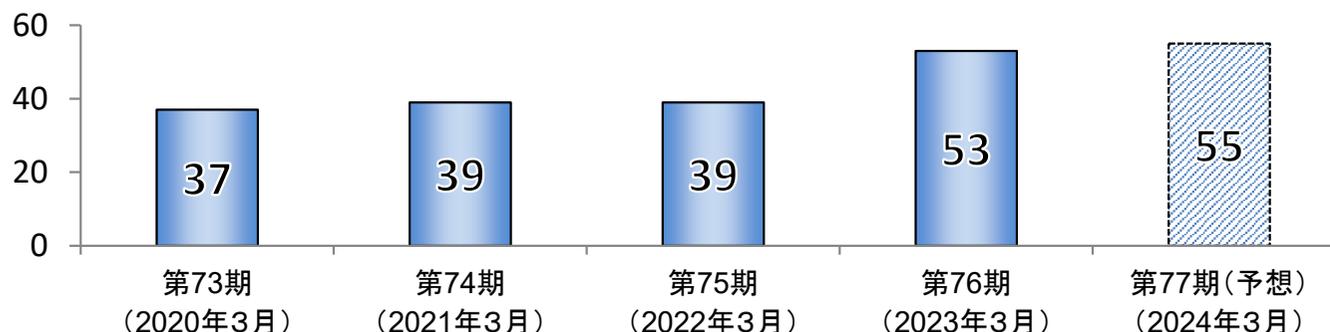


	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 (見通し)
3~4Q売上高(左軸)	20,758	22,926	21,606	23,884	22,809
1~2Q売上高(左軸)	16,924	16,232	15,771	17,399	19,190
売上高	37,682	39,159	37,378	41,284	42,000
経常利益(右軸)	1,765	1,791	1,608	1,979	2,320
親会社株主に帰属する 当期純利益(右軸)	1,127	1,164	1,067	1,320	1,530

## 普通配当

第73期 (2020年3月期)	第74期 (2021年3月期)	第75期 (2022年3月期)	第76期 (2023年3月期)	第77期(予想) (2024年3月期)
37円	39円	39円	53円	55円

(単位:円)



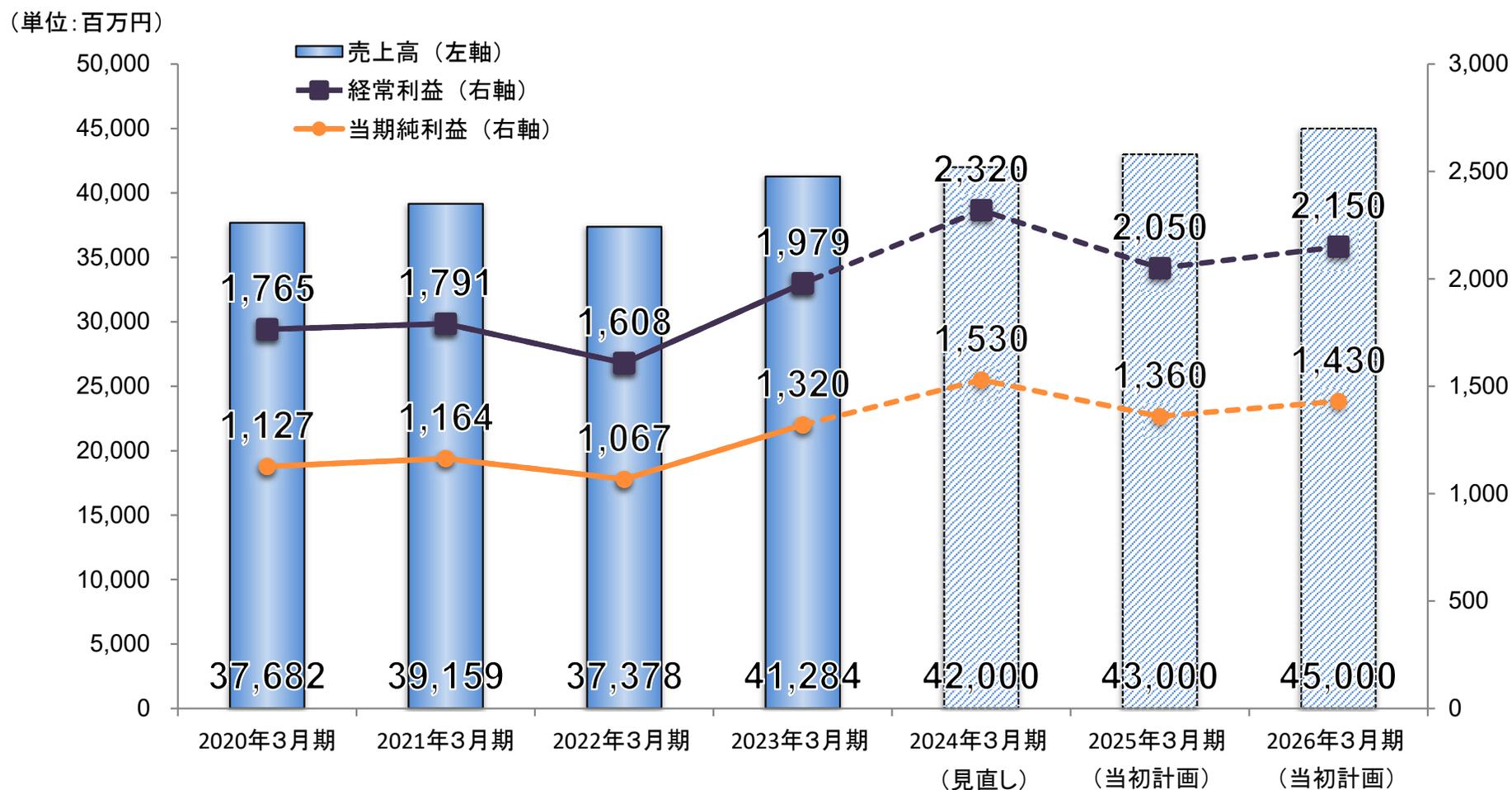
## 株主優待

1. 対象となる株主様 毎年3月末日現在の当社株主名簿に記載された株主様を対象といたします。

2. 優待の内容 以下の基準により保有株式数と保有年数に応じてクオ・カードを進呈いたします。  
毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬に発送いたします。

保有株式数	継続保有3年未満	(※1) 継続保有3年以上
100株以上500株未満	500円分	1,000円分
500株以上	1,000円分	2,000円分

(※1) 「継続保有3年以上」とは、当社株主名簿に同一株主番号で継続して3年以上記載されることとします。



	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
ROE (自己資本利益率)	10.9%	10.3%	8.7%	9.9%

安定的にROE10.0%を目指します



2026年3月期目標
10.0%

本資料に関するお問い合わせ先



経営戦略部

TEL : 06-6539-4816

E-Mail : [ir-info@eiwa-net.co.jp](mailto:ir-info@eiwa-net.co.jp)

URL : <https://www.eiwa-net.co.jp>

(注)この決算説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受けるため、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。本情報及び資料の利用は、利用者の判断によって行っていただきますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。